

## 1 趣旨

「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略（計画期間：令和2年度～8年度）」（以下、「総合戦略」）における、施策推進目標及びKPI（重要業績評価指標）について、令和5年度（計画期間4年目）の目標値に対する同年度末の達成状況を示すもの。

## 2 4本の柱の施策推進目標の達成状況

### 岩手で働く

#### <施策推進目標>

- 人口の社会増減（年間）：△4,113人（R4）⇒0人（R8）
- 一人当たり国民所得に対する一人当たり県民所得の乖離縮小：89.2（R2）⇒90.0以上（R6）

#### <令和5年度実績値 [令和4年度実績値]>

- 人口の社会増減（年間）：△4,653人<sup>※1</sup> [△4,113人]
- 一人当たり国民所得に対する一人当たり県民所得の水準：85.1（R3） [89.2（R2）]

### 岩手で暮らす

#### <施策推進目標>

- 生活満足度が高い人の割合の上昇：36.7%（R4）⇒36.7%を上回る（R8）
- 生活満足度が低い人の割合の低下：33.0%（R4）⇒33.0%を下回る（R8）

#### <令和5年実績値 [令和4年実績値]>

- 生活満足度が高い人の割合：32.1% [36.7%]
- 生活満足度が低い人の割合：33.1% [33.0%]

### 岩手とつながる

#### <施策推進目標>

- 関係人口及び交流人口に関連する指標の向上：現状値を上回る要素指標数3/5（R4）⇒6/6（R8）

#### <令和5年度実績値 [令和4年度実績値]>

- 現状値を上回る要素指標数：5指標 [3指標]

①観光入込客数、②外国人観光入込客数、③グリーン・ツーリズム交流人口、④ふるさといわて応援寄付件数、⑤ホームページ閲覧数、⑥SNSフォロワー数（⑤及び⑥は、関係人口や交流人口に関連するもの）

### 岩手で育てる

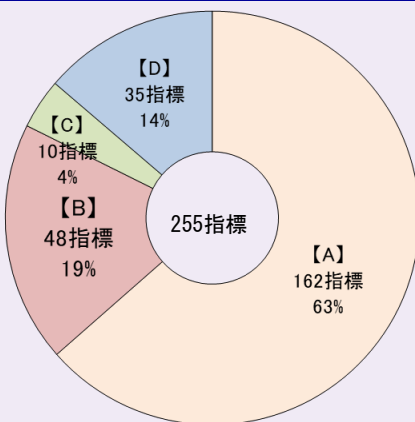
#### <施策推進目標>

- 合計特殊出生率：1.21（R4）⇒1.58以上（R8）

#### <令和5年度実績値 [令和4年度実績値]>

- 合計特殊出生率：1.16 [1.21]

## 3 KPIの達成状況（総合評価）



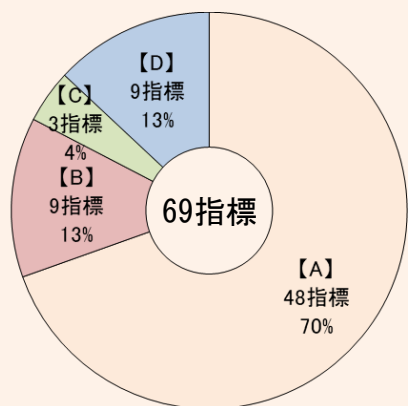
KPI 255指標<sup>※2</sup>のうち、達成度<sup>※3</sup>が【A】及び【B】の「概ね達成」以上は210指標で全体の82%、【C】及び【D】の「やや遅れ」以下は45指標で18%であった。

※2:総合戦略で設定しているKPI 指標のうち、実績未確定等を除いた255指標を対象  
 ※3:達成度 A:「達成」(達成度100%以上)、B:「概ね達成」(同80%以上)、C:「やや遅れ」(同60%以上80%未満)、D:「遅れ」(同60%未満) 達成度は、いわて県民計画(2019～2028)第2期アクションプランー政策推進プランー令和5年度実績と同様

### <最終年度（令和8年度）に対する進捗状況>

4本の柱	プロジェクト	指標数		指標の割合	
		進捗率 25%以上	進捗率 25%未満	進捗率 25%以上	進捗率 25%未満
岩手で働く	1-1 商工業振興戦略	18指標	11指標	62.1%	37.9%
	1-2 観光産業振興戦略	6指標	2指標	75.0%	25.0%
	1-3 農林水産業振興戦略	22指標	5指標	81.5%	18.5%
	1-4 ふるさと移住・定住促進戦略	4指標	1指標	80.0%	20.0%
岩手で育てる	2-1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略	9指標	2指標	81.8%	18.2%
	2-2 子育て支援戦略	8指標	2指標	80.0%	20.0%
岩手で暮らす	3-1 魅力あるふるさとづくり戦略	35指標	9指標	79.5%	20.5%
	3-2 文化スポーツ振興戦略	14指標	4指標	77.8%	22.2%
	3-3 若者・女性活躍支援戦略	7指標	2指標	77.8%	22.2%
	3-4 保健・医療・福祉充実戦略	8指標	6指標	57.1%	42.9%
	3-5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略	39指標	20指標	66.1%	33.9%
岩手とつながる	4-1 関係人口創出・拡大戦略	3指標	0指標	100.0%	0.0%
	4-2 いわてまるごと交流促進戦略	17指標	1指標	94.4%	5.6%
合計		190指標	65指標	74.5%	25.5%

## 岩手で働く



○達成度：  
概ね達成以上の割合 83%

**1 商工業振興戦略**

概ね達成以上 (79.3%) 女性の全国との賃金格差 等

やや遅れ以下 (20.7%) 県内大学等卒業者の県内就職率

[理由：首都圏の有効求人倍率が高水準で推移し、県外企業からの求人の増加が見られたため] 等

**2 観光産業振興戦略**

概ね達成以上 (100%) 外国人宿泊者数（延べ人数 全施設） 等

**3 農林水産業振興戦略**

概ね達成以上 (81.5%) リーディング経営体の育成数〔累計〕 等

やや遅れ以下 (18.5%) 養殖ワカメ生産者1人当たりの生産量

[理由：令和4年1～3月頃にかけて親潮の勢力が強くなり、本県沿岸に冷水が流れ込んできたことにより、ワカメの生育が停滞するなどの影響があったため] 等

**4 ふるさと移住・定住促進戦略**

概ね達成以上 (80%) 県外からの移住・定住者数 等

やや遅れ以下 (20%) U・Iターン就職者数〔累計〕

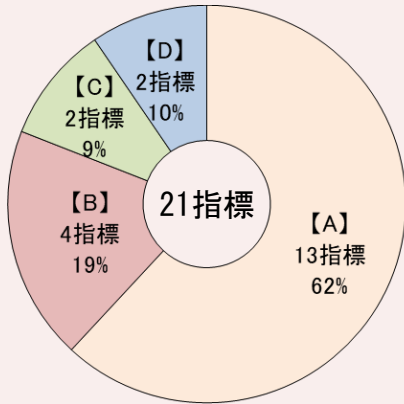
[理由：全国的な人手不足の中、正社員の求人数や賃金水準の差などを背景に東京圏への転入超過の状況が続くなど、就業者の東京一極集中への動きがみられるため] 等

**<今後の方向性>**

- 「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開等により、デジタル技術等を活用した労働生産性の向上、長時間労働の是正などを推進するとともに賃上げに取り組む企業等への支援を行い、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりを促進します。
- 地域や企業の人材育成ニーズに対応した教育プログラムの構築などにより、県内学生等の地元定着意識の醸成に取り組みます。
- 新たな市場開拓や経済効果の高い高付加価値旅行者の誘客につなげるため、対象市場・地域の特性を捉えた戦略的なプロモーションの展開、情報発信の強化など受入環境の整備の支援などにより、インバウンドの誘客と消費額の拡大を促進します。
- 「岩手県農業経営・就農支援センター」の現地支援チームによる経営体ごとの経営規模の拡大や多角化等に向けた課題の解決支援に取り組むとともに、農業経営を支える人材の安定的な確保に向け、多様な人材の活用や就業環境の整備への支援など、地域農業の中核となる経営体の育成に取り組みます。
- 養殖ワカメの人工種苗の導入による収穫期間の延長や、病虫害の発生予測技術を活用した被害防止策への支援などにより、養殖生産量の回復・増大を推進します。
- 本県への移住に対する興味・関心を高めるため、訴求力の高い情報発信に取り組むとともに、U・Iターン就職者数の増加に向けた企業に対する研修やセミナー等の実施、求職者と県内企業とのマッチング強化、企業情報や求人情報の充実を図るなど、本県への移住・定住を促進します。
- 学生等若者のU・Iターン就職に向け、「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携した就職相談やインターンシップの実施、岩手版ワーキングホリデーなどの取組を推進します。

## 4 13の戦略ごとの達成状況、主な取組内容、今後の方向性（2／3）

### 岩手で育てる



○達成度：  
概ね達成以上の割合 81%

#### 1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略

概ね達成以上 (63.6%) 共働き世帯の男性の家事時間割合 [週平均] 等

やや遅れ以下 (36.4%) 年次有給休暇の取得率

[理由：人手不足が続いていることなどにより取得率の大きな上昇とならなかったため] 等

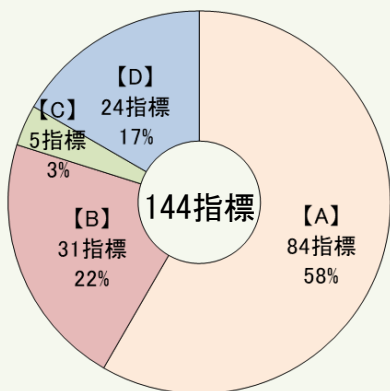
#### 2 子育て支援戦略

概ね達成以上 (100%) 子ども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む市町村数等

#### <今後の方向性>

- ・ 仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の認証数の拡大に向け、企業等の働きかけの強化に取り組みます。
- ・ 男女が協力して家事・育児を行う意識醸成を図るため、企業等と連携した啓発キャンペーンを実施し、家庭内における家事・育児負担のジェンダーギャップ解消に向けた取組を推進します。
- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開等により、デジタル技術等を活用した労働生産性の向上、長時間労働の是正などを推進するとともに年次有給休暇の取得促進を図り、若者や女性などに魅力ある職場環境づくりを促進します。
- ・ 「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じ、子どもの居場所の開設・運営に関する支援を行うとともに、新規の立ち上げ支援、スタッフの育成・スキルアップのための研修会の開催等を行うコーディネーターの配置により、特に取組の行われていない市町村への働きかけの強化に取り組めます。

### 岩手で暮らす



○達成度：  
概ね達成以上の割合 80%

#### 1 魅力あるふるさとづくり戦略

概ね達成以上 (84.1%) 景観づくりに取り組む地区数 [累計] 等

やや遅れ以下 (15.9%) 三セク鉄道・バスの一人当たり年間利用回数

[理由：新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や新しい生活様式の定着等により利用者数が伸び悩んだため] 等

#### 2 文化スポーツ振興戦略

概ね達成以上 (89%) 文化施設入場者数 等

やや遅れ以下 (11%) スポーツ実施率

[理由：30代から50代までの働き盛り世代のスポーツ実施率が60%程度と低迷したため] 等

#### 3 若者・女性活躍支援戦略

概ね達成以上 (100%) 労働者総数に占める女性の割合 [累計] 等

#### 4 保健・医療・福祉充実戦略

概ね達成以上 (57.1%) 小児周産期医療遠隔支援システム利用回数 等

やや遅れ以下 (42.9%) 人口10万人当たりの生活困窮者自立支援制度のプラン作成件数

[理由：低所得世帯に対する給付金等の支援策により、プラン作成を必要とする相談件数が減少したため] 等

## 4 13の戦略ごとの達成状況、主な取組内容、今後の方向性（3／3）

### 岩手で暮らす

#### 5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略

概ね達成以上（76.3%） 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数等

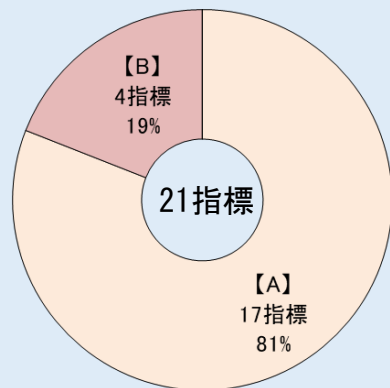
やや遅れ以下（23.7%） 岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合

[理由:学校の授業やインターネット等において、高校生に県内企業の情報や県内で働くイメージを十分に浸透させることができなかったため] 等

#### <今後の方向性>

- 交通の円滑化や快適な道路空間の創出に資する道路の無電柱化等を推進します。
- 通院・通学など県民の日常生活に必要な交通手段を維持・確保するため、国や市町村等と連携し、路線の維持や持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、公共交通の利用促進の強化などに取り組みます。
- 働き盛り世代がスポーツに親しむきっかけづくりを進めるため、スポーツ医・科学の知見に基づく企業等での健康教室の開催や空き時間にできる運動プログラム動画の配信などに取り組みます。また、県ホームページやSNS等を活用し、親子参加型のスポーツ教室等のイベントや県営スポーツ施設の夜間利用の促進に係る情報発信を強化するなど、年齢や障がいの有無にかかわらず、県民がスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。
- 自立相談支援機関において、適切な支援プランに基づく支援が行われるよう、支援従事者研修等を通じて支援スキルの向上に取り組むとともに、関係団体等との連携により、困窮者に寄り添った生活再建支援の強化を推進します。
- 若者や女性への県内企業の認知度向上や県内企業の採用力向上を促進するため、「いわてで働こう推進協議会」を核として、企業の魅力向上に向けた取組や県内外から人材を確保する取組を推進するとともに、高校生の将来のライフデザインを考えるためのキャリア教育を推進し、早期から県内企業や産業状況を理解してもらう取組を進め、魅力ある県内企業の認知度向上に取り組みます。

### 岩手とつながる



#### 1 関係人口創出・拡大戦略

概ね達成以上（100%） 移住相談件数

#### 2 いわてまるごと交流促進戦略

概ね達成以上（100%） スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数

#### <今後の方向性>

- 首都圏と県内の相談窓口が連携し、本県への移住・定住を促進します。
- これまでの大規模スポーツ大会の開催実績を生かし、いわてスポーツコミッションを中心にスポーツ大会・合宿の誘致や、豊かな自然を生かしたスポーツアクティビティの普及により、人的・経済的な交流を推進するとともに、県内のトップ・プロスポーツチームと連携したスポーツ教室等の開催により、県民のスポーツに対する関心を高め、県のPRの実施により、地域活性化に取り組みます。

○達成度：  
概ね達成以上の割合 100%

【参考】第2期岩手県ふるさと振興総合戦略におけるKPI 令和5年度実績一覧

指標No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度	指標No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度	
			R5	R5	R5				R5	R5	R5	
1-1 商工業振興戦略						46	農林水産業に関する研究開発件数【累計】					
1	地場企業の自動車・半導体関連取引成約件数【累計】	件	65	62	B	47	環境制御技術導入経営体数【累計】	経営体	35	30	A	
2	新規又は拡大した企業間連携数【累計】	件	3	3	A	48	森林GIS活用サポーター研修の修了者数【累計】	人	44	46	A	
3	医療機器関連取引成約件数【累計】	件	11	11	A	49	大型で強靱なサケ稚魚の生産に取り組むふ化場の割合	%	100.0	100.0	A	
4	県・国の支援によりデジタル化に取り組むものづくり企業数【累計】	社	12	15	A	50	国際水準GAP取組産地割合	%	10.0	11.0	A	
5	新規立地・増設件数【累計】	件	30	33	A	51	水田整備面積【累計】	ha	16,400	16,452	A	
6	ファブテラスいわたの利用者数【累計】	人	1,100	1,047	B	52	再造林面積	ha	1,050	849	D	
7	港湾におけるコンテナ貨物取扱数(実入り)	TEU	11,000	7,867	D	53	藻場造成実施箇所数【累計】	箇所	3	3	A	
8	国内の食の商談会有望取引件数【累計】	件	400	429	A	54	松くい虫による被害量	千㎡	18	14	A	
9	国内の食の商談会等出展者(水産加工業)数【累計】	者	95	94	B	55	事業体当たり6次産業化販売額	千円	19,930	21,454	A	
10	伝統的工芸品の製造品出荷額	百万円	2,579	2,898	A	56	いわた牛取扱い推奨店登録数	店舗	390	411	A	
11	アンテナショップ(東京、大阪、福岡)における県産品販売額	百万円	553	598	A	57	素材需要量	千㎡	1,249	1,002	D	
12	県産品輸出額(加工食品・工芸品)	百万円	810	924	A	58	水産加工事業者1社当たりの製造品出荷額	億円	6.2	5.4	D	
13	経営革新計画承認件数【累計】	件	895	908	A	59	農林水産物の輸出額	億円	52.0	-	-	
14	データ活用による経営力強化を図る企業のモデル事例創出件数【累計】	件	4	7	A	60	年間売上高1億円以上の産直数	施設	41	-	-	
15	いわた起業家育成資金の利用実績【累計】	件	484	673	A	61	農山漁村の環境保全活動への参加のべ人数	人	125,800	125,921	A	
16	事業承継の支援を受けた企業数【累計】	企業	4,772	5,339	A	62	グリーン・ツーリズム交流人口	千人回	1,160	1,148	B	
17	商工観光振興資金及び中小企業成長応援資金の貸付件数【累計】	件	3,446	4,207	A	63	農山漁村発イノベーションによる商品化件数【累計】	件	60	60	A	
18	にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合	%	61.5	71.6	A	64	農業用ため池の機能診断実施箇所数【累計】	箇所	133	154	A	
19	県管建設工事におけるICT活用工事の実施件数【累計】	件	91	153	A	65	山地災害防止機能が確保された集落数【累計】	集落	1,005	1,005	A	
20	高卒者の県内就職率	%	84.5	71.5	B	66	漁港施設の防災・減災対策実施施設数【累計】	施設	38	38	A	
21	県内大学等卒業者の県内就職率	%	48.5	40.8	D	1-4 ふるさと移住・定住促進戦略						
22	U・イターン就職者数【累計】	人	1,000.0	788.0	C	67	移住相談件数	件	9,200	10,307	A	
23	いわた働き方改革推進運動参加事業者数【累計】	事業者	945.0	945.0	A	68	県外からの移住・定住者数	人	1,830	1,868	A	
24	正社員就職・正社員転換数	人	12,000	9,529	C	69	U・イターン就職者数【累計】【再掲】	人	1,000	788	C	
25	女性の全国との賃金格差	%	85.8	85.9	A	70	移住コーディネーター、定住支援員等を配置している市町村数	市町村	33	33	A	
26	離職者等を対象とした職業訓練の受講者の就職率	%	80.0	72.5	B	71	地域おこし協力隊員数	人	242	266	A	
27	障がい者委託訓練の修了者の就職率	%	74.5	69.2	D	2-1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略						
28	放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)	人	90	64	A	72	結婚サポートセンター会員における成婚者数【累計】	人	55	65	A	
29	農業や水産業に取り組んでいる就労継続支援事業所数	事業所	139	116	D	73	「いわた子育て応援の店」協賛店舗数【累計】	店舗	2,500	2,431	C	
1-2 観光産業振興戦略						74	不妊治療休暇制度等導入事業者数【累計】					
30	観光消費額単価(日本人・県外・宿泊)	千円	29.6	33.2	A	75	共働き世帯の男性の家事時間割合【週平均】	%	42.5	43.0	A	
31	観光消費額単価(外国人・宿泊)	千円	64.2	61.6	B	76	周産期救急患者搬送のコーディネート件数	件	416	385	D	
32	宿泊者数(延べ人数・全施設)	万人泊	575.5	585.5	A	77	産後ケア事業実施市町村数(他市町村との連携を含む)【累計】	市町村	31	32	A	
33	外国人宿泊者数(延べ人数 全施設)	万人泊	27.7	28.2	A	78	いわた働き方改革推進運動参加事業者数【累計】【再掲】	事業者	945	945	A	
34	本県への再来訪意向を持つ人の割合	%	85.0	85.1	A	79	年次有給休暇の取得率	%	60.2	59.2	C	
35	主要な観光地へのアクセス道路の整備延長【累計】	km	24.0	24.2	A	80	放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	90	64	A	
36	クルーズ船寄港回数	回	6	10	A	81	いわた子育てにやさしい企業等認証の認証数	事業者	245	223	B	
37	いわた花巻空港の航空旅客数	千人	494	477	B	82	いわた健康経営認定事業所数	事業所	646	591	B	
1-3 農林水産業振興戦略						2-2 子育て支援戦略						
38	水稲オリジナル品種(主食用)の作付面積	ha	8,200	8,224	A	83	放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	90	64	A	
39	素材生産量	千㎡	1,482	1,235	D	84	保育士・保育所支援センターマッチング件数【累計】	件	114	100	B	
40	養殖ワカメ生産者1人当たりの生産量	トン	19.1	16.6	D	85	学習支援事業に取り組む市町村数	市町村	26	27	A	
41	リーディング経営体の育成数【累計】	経営体	150	150	A	86	子ども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む市町村数	市町村	26	26	A	
42	意欲と能力のある林業経営体数	経営体	94	94	A	87	小児周産期医療遠隔支援システム利用回数	回	706	721	A	
43	中核的漁業経営体数	経営体	287	368	A	88	発達障がい児者地域支援体制整備への助言回数【累計】	回数	9	12	A	
44	農林水産業における新規就業者数	人	440	445	A	89	すこやかメールマガジンの登録人数	人	4,500	4,500	A	
45	女性農業者の経営参画割合	%	35.5	35.4	B	90	教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合	%	95.7	95.8	A	

【参考】第2期岩手県ふるさと振興総合戦略におけるKPI 令和5年度実績一覧

指標No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度	指標No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度
			R5	R5	R5				R5	R5	R5
91	放課後児童クラブの待機児童数(5月時点)【再掲】	人	90	64	A	136	漁港施設の防災・減災対策実施施設数【累計】【再掲】	施設	38	38	A
92	特別支援教育サポーターの登録者数	人	390	389	B	137	早期に修繕が必要な橋梁の対策完了数【累計】	橋	136	132	B
3-1 魅力あるふるさとづくり戦略						3-2 文化スポーツ振興戦略					
93	空家等対策計画策定市町村数【累計】	市町村	28	26	D	138	「世界遺産出前授業」の実施学校数【累計】	校	56	66	A
94	汚水処理人口普及率	%	87.9	85.4	D	139	世界遺産ガイド施設等入館者数	千人	77	72	B
95	景観づくりに取り組む地区数【累計】	地区	57	59	A	140	3つの世界遺産に係る連携・交流活動参加人数【累計】	人	60	80	A
96	広域バス1路線当たりの平均乗車密度	人	2.9	3.7	A	141	「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数【累計】	人	3,510	3,552	A
97	地域公共交通計画等策定市町村数【累計】	市町村	25	23	C	142	観光客数(歴史・文化に関係する観光地点での入込客数)	千人	2,440	-	-
98	三セク鉄道・バスの一人当たり年間利用回数	回	14.3	11.8	D	143	岩手芸術祭参加者数【累計】	人	20,000	22,285	A
99	活動中の元気なコミュニティ特選団体数	団体	237	234	B	144	県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数	回	3,980	8,552	A
100	モデル地区数【累計】	地区	17	18	A	145	文化施設入場者数 ※岩手県内公立文化施設協議会加盟施設で行う自主催事入場者数	千人	126	128	A
101	地域おこし協力隊員数【再掲】	人	242	266	A	146	コミックいわてWEBページビュー数	件	651,000	659,256	A
102	地域防災サポーターによる講義等の受講者数【累計】	人	13,275	16,763	A	147	岩手県障がい者文化芸術祭出展数【累計】	件	345	362	A
103	平時から災害を想定して、復興まちづくりの事前準備に取り組んでいる市町村数	市町村	15	17	A	148	総合型地域スポーツクラブ会員数(地区全戸加入を除く)	人	7,720	7,117	D
104	新たな津波浸水想定に対応した津波ハザードマップに基づいた住民参加型の津波避難訓練が実施されている沿岸市町村	市町村	10	11	A	149	スポーツ実施率	%	67.2	66.8	C
105	普段から災害に備えている人の割合	%	52.2	47.5	D	150	障がい者スポーツの教室・大会の参加人数【累計】	人	11,720	11,783	A
106	地域防災サポーターによる講義等の受講者数【累計】【再掲】	人	13,275	16,763	A	151	岩手芸術祭への出展数【累計】	件	1,210	1,035	B
107	防災対応研修を受講した市町村職員数【累計】	人	2,391	2,282	B	152	アートマネジメント人材育成数【累計】	人	50.0	69.0	A
108	HACCP導入に関する講習会の受講者数【累計】	人	3,700	4,252	A	153	本県関係選手の日本代表選出数【累計】	人	123	132	A
109	食育普及啓発行事の参加者数【累計】	人	340	1,189	A	154	障がい者アスリートの全国大会出場選手数【累計】	人	47	58	A
110	感染症専門人材育成研修会参加人数【累計】	人	3	49	A	155	スポーツ医・科学サポート団体数【累計】	団体	439	499	A
111	ワクチン接種従事者等の育成研修受講者数【累計】	人	60	123	A	156	スポーツ推進委員研修会参加率	%	50.0	44.2	B
112	養鶏場における飼養衛生管理の評価基準達成割合	%	100.0	100.0	A	3-3 若者・女性活躍支援戦略					
113	自然公園の利用者数	千人	401	446	A	157	出前講座受講者数【累計】	人	3,600	4,558	A
114	公共用水域のBOD(生物化学的酸素要求量)等環境基準達成率	%	95.7	98.3	A	158	審議会等委員に占める女性の割合	%	40.0	38.4	B
115	水と緑を守り育てる環境保全活動数【累計】	件	825	1,095	A	159	DV相談員研修会の参加者数	人	60	55	B
116	環境学習交流センター利用者数	人	41,000	45,032	A	160	若者活躍支援イベント参加者の満足度割合	%	83.0	95.8	A
117	主要ジオサイトの観光入込客数	千人	980	1,284	A	161	いわて若者交流ポータルサイト新規登録団体数	団体	4	12	A
118	一人1日当たり家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量	g	513	514	B	162	えるばし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数【累計】	社	542	545	A
119	産業廃棄物の自県内処理率	%	97.5	95.3	B	163	女性のエンパワーメント研修受講者数【累計】	人	814	792	B
120	産業廃棄物適正処理率	%	100.0	99.8	B	164	労働者総数に占める女性の割合	%	37.8	38.7	A
121	地球温暖化防止のための行動に努めている県民の割合	%	90.0	80.0	B	165	経営者研修受講者数【累計】	人	876	914	A
122	再生可能エネルギーによる電力自給率	%	50.9	45.7	D	3-4 保健・医療・福祉充実戦略					
123	間伐材利用率	%	43.3	49.7	A	166	健康寿命【平均自立期間】(男性)	年	80.42	79.64	D
124	気候変動適応に関するセミナー等の受講者数【累計】	人	120	186	A	167	健康寿命【平均自立期間】(女性)	年	84.92	84.25	D
125	市町村デジタル技術活用サービス開始数	件	28	60	A	168	岩手県精神保健福祉大会参加者数【累計】	人	630	361	D
126	オープンデータ公開項目数【累計】	件	188	213	A	169	自殺者数(10万人当たり)	人	15.0	20.2	D
127	5G人口カバー率	%	82.2	91.0	A	170	医療施設(病院、診療所)勤務医師数	人	-	-	-
128	競争的外部資金獲得件数	件	54	63	A	171	小児周産期医療遠隔支援システム利用回数【再掲】	回	706	721	A
129	特許等実施件数【累計】	件	137	-	-	172	ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数【累計】	区画	1,100	1,132	A
130	近年の洪水災害に対応した河川改修事業の完了河川数【累計】	河川	1	0	D	173	人口10万人当たりの生活困窮者自立支援制度のプラン作成件数	件/月	7	6	D
131	緊急輸送道路の整備完了箇所数【累計】	箇所	20	20	A	174	75歳以上85歳未満高齢者の要介護認定率	%	11.9	11.5	A
132	救急医療機関へのアクセス道路の整備延長【累計】	km	12.5	12.5	A	175	高齢者のボランティア活動比率	%	26.7	27.9	A
133	物流の基盤となる道路の整備延長【累計】	km	16.5	17.7	A	176	認知症地域支援推進員活動促進研修修了者数【累計】	人	32	45	A
134	農業用ため池の機能診断実施箇所数【累計】【再掲】	箇所	133	154	A	177	主任介護支援専門員研修修了者数【累計】	人	1,626.0	1,620.0	B
135	山地災害防止機能が確保された集落数【累計】【再掲】	集落	1,005	1,005	A	178	障がい者の不利益取扱に対応する相談窓口職員研修受講者数【累計】	人	312	364	A
						179	農業や水産業に取り組んでいる就労継続支援事業所数【再掲】	事業所	139	116	D
						180	介護職員の離職者に占める勤続1年未満の者の割合	%	41.6	-	-
						181	情報通信技術(ICT)導入に係る補助事業所数	事業所	50	89	A

【参考】第2期岩手県ふるさと振興総合戦略におけるKPI 令和5年度実績一覧

指標 No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度	指標 No.	KPI	単位	目標値	実績値	達成度
			R5	R5	R5				R5	R5	R5
3-5	ふるさとの未来を担うづくり戦略					226	農林水産業の人材育成機関の修了生数【累計】	人	688	677	B
182	意欲をもって自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合(小学生)	%	82.5	82.6	A	227	県営建設工事におけるICT活用工事の実施件数【累計】【再掲】	件	91	153	A
183	意欲をもって自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合(中学生)	%	85.4	83.1	B	228	デジタル人材育成関連セミナー受講者数	人	500	571	A
184	授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合	%	80	82	A	229	科学技術普及啓発イベント等来場者数【累計】	人	3,000	4,863	A
185	調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(小)	%	52	46	B	230	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合(中)	%	45.0	38.4	D
186	調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(中)	%	42	28	C	231	中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合(高)	%	51.0	48.5	D
187	調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合(高)	%	53	79	A	232	いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数【累計】	人	5	3	C
188	生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	67	69	A	233	地域課題解決を目的とした県内高等教育機関との共同研究数【累計】	件	75	86	A
189	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合(小)	%	77	73	B	234	県内企業等へのインターンシップ参加者数	人	200	412	A
190	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合(中)	%	81	75	B	235	岩手県立大学の実装化された研究成果数【累計】	件	21	21	A
191	多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合(高)	%	90	86	B	236	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	940	943	A
192	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合(小)	%	85	90	A	237	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数	人	1,050	1,101	A
193	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合(中)	%	85	88	A	238	教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合【再掲】	%	95.7	95.8	A
194	学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合(高)	%	90	91	A	239	社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	130	126	B
195	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(小)	%	72	69	D	240	県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	95	A
196	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(中)	%	69	64	D	4-1 関係人口創出・拡大戦略					
197	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(高)	%	77	76	B	241	移住相談件数【再掲】	件	9,200	10,307	A
198	話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合(小)	%	84	86	A	242	地域おこし協力隊員数【再掲】	人	242	266	A
199	話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合(中)	%	84	88	A	243	複業等の実現件数【累計】	件	95	99	A
200	話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合(高)	%	83	82	B	4-2 いわてまるごと交流促進戦略					
201	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	89	88	B	244	外国人宿泊者数(延べ人数 全施設)【再掲】	万人泊	27.7	28.2	A
202	部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持つている学校の割合(中学校)	%	89.0	93.8	A	245	いわて花巻空港の航空旅客数【再掲】	千人	494	477	B
203	部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会等の機会を持つている学校の割合(高校)	%	95.0	98.4	A	246	観光消費額単価(日本人・県外・宿泊)【再掲】	千円	29.6	33.2	A
204	いわて特別支援学校就労サポーター制度への登録企業数	社	133	127	D	247	宿泊者数(延べ人数・全施設)【再掲】	万人泊	575.5	585.5	A
205	特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した小・中学校等及び高等学校の教員数【累計】	人	655	746	A	248	本県への再来訪意向を持つ人の割合【再掲】	%	85.0	85.1	A
206	県立学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、医療的ケア看護職員による医療的ケアを受けた割合	%	100	100	A	249	県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)利用者数	人	429,000	604,650	A
207	特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	390	389	B	250	県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数【再掲】	回	3,980	8,552	A
208	認知したいじめが解消した割合	%	100.0	97.8	B	251	スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数【累計】	人	512,000	556,357	A
209	学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小)	%	88	85	D	252	「世界遺産出前授業」の実施学校数【累計】【再掲】	校	56	66	A
210	学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(中)	%	85	86	A	253	世界遺産ガイド施設等入館者数【再掲】	千人	77	72	B
211	学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(高)	%	90	86	D	254	3つの世界遺産に係る連携・交流活動参加人数【累計】【再掲】	人	60	80	A
212	スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性があることを理解している児童生徒の割合(小)	%	100	98	B	255	「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数【累計】【再掲】	人	3,510	3,552	A
213	スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性があることを理解している児童生徒の割合(中)	%	100	99	B	256	観光客数(歴史・文化に関係する観光地点での入込客数)【再掲】	千人	2,440	-	-
214	スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性があることを理解している児童生徒の割合(高)	%	100	99	B	257	自然公園の利用者数【再掲】	千人	401	446	A
215	地域住民などによる見守り活動が行われている小中学校の割合	%	85.0	95.9	A	258	主要ジオサイトの観光入込客数【再掲】	千人	980	1,284	A
216	自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある高校2年生の割合	%	75	70	B	259	グリーン・ツーリズム交流人口【再掲】	千人回	1,160	1,148	B
217	教育支援センターを設置している市町村数	市町村	24	23	C	260	国際交流センター来館者数	人	83,600	125,796	A
218	私立高等学校における特色ある教育活動の実施率	%	65.0	64.1	B	261	岩手県国際交流協会ホームページアクセス件数	件	238,000	256,736	A
219	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学生)	%	83.0	83.8	A	262	いわて親善大使活動件数	件	28	27	B
220	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学生)	%	73.8	71.8	D						
221	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(小)	%	72	70	D						
222	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(中)	%	55	54	D						
223	自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(高)	%	47	49	A						
224	将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	50	50	A						
225	岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合	%	35.0	19.8	D						

趣旨

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援する「地方創生関係交付金※」を活用し、令和5年度に実施した事業について、実施状況を示すもの。 ※デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプ、地方創生拠点整備タイプ（内閣府所管制度）

ドローンによる活力ある中山間地域まちづくり事業【令和2～6年度】

<事業概要>

ドローンによる荷物配送システムの構築や林業生産性向上に向けたドローンの実証実験及び社会実装に取り組むほか、未来技術の普及啓発や社会実装に向けた地域の推進体制の整備を図るもの。

<令和5年度交付対象事業費（うち交付金）>  
5,070,842円（2,535,421円）

<主な取組内容>

- ・ドローンの実証試験の実施
- ・運用体制整備に向けた関係団体等との調整
- ・いわて未来技術社会実装推進会議の運営

<成果・課題>

・中山間地域において、ドローンによる日用品の荷物配送や林業生産性向上に向けた実証実験を実施した結果、ドローン物流利用申込者や未来技術普及啓発活動参加者の目標を達成し、実装に向けた理解の醸成が図られている。

<令和6年度の取組状況>

いわて未来技術社会実装推進会議の開催場所の変更等により事業費を減額のうえ、継続して実施。

担当部局：ふるさと振興部

岩手県内外の若者確保・定着促進事業【令和3～5年度】

<事業概要>

人口の社会減に歯止めをかけるため、働き方改革や産業分野の人材育成により、若者の県内就職・定着を促すとともに、地域コミュニティ活性化や空き家活用など、安心して暮らせる環境づくりを進めるもの。

<令和5年度交付対象事業費（うち交付金）>  
118,045,841円（59,022,920円）

<主な取組内容>

- ・県内高校・大学生を対象とした県内就職を考えるワークショップの開催
- ・地域ものづくりネットワークによる人材育成講座の実施
- ・県内高等教育機関と連携した高度人材の育成講座の実施
- ・首都圏等U・Iターン就職支援窓口の運営及び相談会の実施

<成果・課題>

・高校生における県内企業の認知度向上及び県内就職の意識向上に一定の効果があつたもの。  
・県が設置する首都圏移住相談窓口を仲介した本県への移住者数や、高度人材育成事業に参加した県内高等教育機関の学生の県内就職内定人数など、計画どおり事業が進捗し目標値を達成した。  
・自動車及び半導体等に係る専門性の高い人材育成講座等の実施により、受講者の県内関連企業に係る理解の拡大と就職の促進につながった。

<令和6年度の取組状況>

交付金活用期間の終了に伴い、事業終了。

担当部局：商工労働観光部

いわての畜産業産地支援及び消費拡大プロジェクト推進事業【令和3～5年度】

<事業概要>

肉用牛生産者の収益力の強化と肉用牛産地としての評価向上を図るため、県有種雄牛産子限定の枝肉共励会を開催するもの。

<令和5年度交付対象事業費（うち交付金）>  
516,912円（258,456円）

<主な取組内容>

- ・県有種雄牛産子限定の枝肉共励会の開催

<成果・課題>

・牛肉の消費低迷による生産額の低下等、全ての目標達成には至らなかったものの、PR活動の実施により認知度の向上、牛枝肉取引価格の上昇は達成できた。  
・いわて牛HPのアクセス数が増加し、訴求力が高まった。

<令和6年度の取組状況>

交付金活用期間の終了に伴い、事業終了。

担当部局：農林水産部



いわての農水産業高度化プロジェクト事業  
【令和3～5年度】

＜事業概要＞

農業と水産業における生産性向上や高付加価値化のために、野菜の環境制御技術の開発や実証圃の設置、りんどうの新たな品種の開発、新たな魚類養殖技術の開発等を行うもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

9,430,563円（4,715,281円）

＜主な取組内容＞

- ・環境制御技術の導入農家への遠隔支援等の実施
- ・りんどう新品種育成とイベント等の実施
- ・新たな魚類養殖技術の実証等の実施

＜成果・課題＞

- ・本事業の実施を契機として、環境制御技術を導入する機運が醸成され、環境制御技術の導入経営体数も着実に増加した。
- ・一方で、機器の稼働に必要な燃料や機器の価格高騰により目標より導入が少なかった。
- ・青色以外の八重咲鉢物りんどうの品種について選抜した。
- ・サケふ化場を有効活用し、海面養殖用のサーモンの稚魚の中間育成を行うことで、海面の魚類養殖量の増加につながった。

＜令和6年度の取組状況＞

交付金活用期間の終了に伴い、本事業終了。

担当部局：農林水産部

いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業  
【令和4～6年度】

＜事業概要＞

小規模県立高校での「高校魅力化」の取組や成果をベースに「いわて高校魅力化」として全県に広げ、県内全域で「地域を担う人づくり」を進める。また、高校で地域や地域産業の持つ魅力や課題等に触れながら探究的な学びをしてきた若者が高校卒業後も取組を継続し、若者同士の交流・ネットワークづくりや地域をけん引する若者の主体的な活動を活性化させる。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

37,638,649円（18,819,324円）

＜主な取組内容＞

- ・コンソーシアムの設置や県魅力化プロデューサー及び地域連携コーディネーターの配置
- ・地域産業等の課題解決に向けた講座の実施
- ・若者活躍支援に係る交流会やイベントの実施

＜成果・課題＞

- ・地域等と協働した高校魅力化の取組を全国に発信し、県外からの高校進学を促している。
- ・地域や地元企業の抱える課題に向き合うことで、生徒の地域に対する当事者意識が生まれている。
- ・一方で、若者交流イベントの参加者数が伸び悩んでいることから、イベント内容のブラッシュアップや周知の強化が必要。

＜令和6年度の取組状況＞

県魅力化プロデューサーの支援先を全県立高校から拠点となる学校にするなど重点化したほか、若者交流イベントについて若者のニーズに合わせて開催時間を変更するなど事業内容、事業費等を一部見直しのうえ、継続して実施

担当部局：教育委員会

新たな地域資源創出による三陸交流拡大プロジェクト【令和4～6年度】

＜事業概要＞

防災の学びによる観光地域づくり強化事業や復興防災、インフラを活用した学び事業の展開で交流人口の拡大につなげ、三陸ブランドの推進による地域の収益向上を目指し、総合的な移住・定住を進めるもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

29,630,909円（1,481,545千円）

＜主な取組内容＞

- ・防災の学びによる観光地域づくり
- ・復興防災コンテンツを利用した交流人口拡大事業（企画列車造成支援等）の実施
- ・防災インフラを活用した津波防災の学び事業の実施
- ・サケマス海面養殖イノベーション推進事業（種苗開発等）の実施

＜成果・課題＞

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した観光需要を喚起するため実施した全国旅行支援やクーポン付き宿泊プラン造成等により、三陸地域への観光入込客数が増加したほか、外国船社クルーズ船の国内への寄港が再開され、これまでの継続したポートセールスが功を奏し、寄港拡大に繋がった。
- ・三陸鉄道の県外団体利用者数は、コロナ禍以前の水準に回復していないため、旅行エージェントを中心とした営業活動の強化が必要。

＜令和6年度の取組状況＞

サケマス海面養殖イノベーション推進事業において、稚魚の効率的な生産体制の構築や種苗の開発に係る実施体制を変更するなど実施体制や事業費を一部見直しのうえ、継続して実施。

担当部局：ふるさと振興部

いわての地域産業DX推進事業【令和4～6年度】

＜事業概要＞

DX推進に係る課題解決のため、中小企業のデジタル化に向けた伴走型支援体制の構築やものづくり企業等を中心とした生産性向上に資する取組の啓発、商業やサービス業を中心とした中小企業のデジタル化支援を図るもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

22,167,760円（11,083,880円）

＜主な取組内容＞

- ・中小企業デジタルネットワーク運営やコーディネーターの設置
- ・技術者育成に向けたプログラミング演習や伴走型の課題解決支援
- ・ドローン利活用による実証実験の実施、DX推進に向けた研修会の実施

＜成果・課題＞

- ・各企業のニーズやレベルに応じた内容をカスタマイズできる支援体制を構築でき、企業におけるデジタル技術等の導入等に対し、効果があった。
- ・災害時のドローンの導入を進める上では、活用人材の不足が課題である。

＜令和6年度の取組状況＞

伴走支援についてオンラインの活用等により事業費を見直しを行ったほか、ドローン利活用による実証実験においては課題に対応するため、人材育成事業の実施主体となる組織の支援を行うために事業内容の見直し等を行ったうえで、継続して実施。

担当部局：商工労働観光部

地方志向の高まりを生かした関係人口・移住人口創出による地域の担い手確保事業【令和4～6年度】

＜事業概要＞

首都圏在住者の若年層を中心に地域と関わる機会を提供するモデル構築や、移住定住に向けた環境整備、また岩手に関心を持たせる情報発信事業の実施により、地方志向の高まりを生かした関係人口・移住創出による地域づくりの担い手確保を目指すもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

41,080,501円（20,540,250円）

＜主な取組内容＞

- ・首都圏人材と県内地域・企業との複業マッチングによるモデル構築
- ・お試し就業・お試し居住の実施
- ・若年層の移住定住推進に向けた、お試し移住用の住居環境整備や、若者向けの動画制作・発信

＜成果・課題＞

- ・移住希望者に対する認知度向上等の強化を進めたことで、前年度より移住者数が増加した。
- ・若者向けのプロモーション動画について、視聴動向に合わせたプラットフォームの見直しによりインプレッションが増加した。

＜令和6年度の取組状況＞

お試し移住について、入居期間が短い（特に子育て世帯は学校編入を考慮し、長期間の入居が必要）との声を受け、入居期間を延長するなど事業内容の見直しを行ったうえで、継続して実施。

担当部局：ふるさと振興部

いわて加速器関連産業振興事業【令和4～6年度】

＜事業概要＞

県内企業の加速器関連事業への参入を促進するため、加速器の研究に係る専門家の派遣やセミナーの実施、企業のマッチング支援や性能評価に必要な機器整備、環境整備をはじめ県内学生の人材育成等を推進するもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

54,230,497円（27,115,248円）※繰越分含む

＜主な取組内容＞

- ・県内企業の加速器関連産業への参入促進や技術力向上を目的としたセミナーの開催
- ・コーディネーター配置による県内企業のマッチングの支援
- ・性能評価機器を用いた研究者による技術指導

＜成果・課題＞

- ・加速器関連コーディネーターの活動を通じ、関係団体との協力体制を敷くことができたため、加速器関連産業における新規共同開発が進んだ。
- ・県内企業の取引件数が設定した目標に到達しなかったが、今後増加させていくことから、より幅広い企業への訪問・支援が必要。

＜令和6年度の取組状況＞

県外加速器の改修計画が本格化することに伴い、コーディネーターの活動範囲が広域化することから事業費の見直し等を実施のうえ、継続して実施。

担当部局：ILC推進局

北いわてプラチナシティ推進事業【令和5～7年度】

＜事業概要＞

地域のポテンシャルを最大限発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、持続的に発展する先進的な地域の創造を推進するもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

3,387,223円（1,693,611円）

＜主な取組内容＞

- ・北いわてにおける木質バイオマスを生かした地域内エコシステムの構築
- ・アクティブシニアが活躍する地域経済循環の創出に向けて、高齢者の見守りニーズや定年退職した元運輸ドライバーのシーズ等を組合せた実証研究の実施

＜成果・課題＞

- ・各取組において実証研究や関係機関との調整が進んだ。
- ・地域経済循環モデルの構築等に取り組んでおり、今後モデル構築やビジネス化を進め、横展開に取り組んでいく必要がある。

＜令和6年度の取組状況＞

北いわてにおける木質バイオマスを生かした地域内エコシステムの構築について、プロジェクトが進展・高度化したことから専門的な助言をもらう回数を増やしたほか、各取組の進捗状況に合わせて、事業の見直し等を行った上で、継続して実施

担当部局：ふるさと振興部

デジタル人材の育成・起業支援事業【令和5～7年度】

＜事業概要＞

デジタル人材の育成に加えて、起業や地域定着に至るまでを切れ目なく支援することによって、デジタル技術を活用した競争力のある企業をつくり、地域全体としてDXを進展させ、地域経済への好循環を生み出すもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

31,825,100円（15,912,550円）

＜主な取組内容＞

- ・デジタルリスティングプログラムの提供
- ・AI人材育成や、AI利活用や新規事業創出に係る支援の実施
- ・起業・スタートアップ支援としてアクセラレーションプログラムの実施や起業家教育プログラムの実施

＜成果・課題＞

- ・企業のニーズに対応したテーマにて、研修プログラムを実施し、目標としていた講座受講者数に達した。
- ・プラットフォームを中心とした企業支援及び学生を含めた起業家教育による起業マインドの醸成に一定の効果があつた。

＜令和6年度の取組状況＞

デジタルリスティングプログラムの受講者数を拡大するほか、アクセラレーションプログラムの一部の事業費の見直し等を行った上で、継続して実施

担当部局：商工労働観光部

DX・GXの推進による農業水産業の生産性・市場性向上事業【令和5～7年度】

＜事業概要＞

農業水産業の生産性・市場性の向上に向け、データ駆動型農業の導入や、地球温暖化への適応、環境保全型農業、DX等による効率的かつ効果的な販路開拓・拡大を進めるとともに、県産農林水産物の強みを生かした品種選定や栽培技術等の技術開発を行うもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

58,174,516円（29,087,258円）

＜主な取組内容＞

- ・データ駆動型農業に係る技術の実証・開発
- ・気候変動に対応した系統の交配・増殖
- ・堆肥を有効活用した草地改良の実証
- ・ウニの在庫管理技術等の開発
- ・DX販路開拓・拡大戦略の作成、メタバースを活用した県産食材販路開拓モデルの構築

＜成果・課題＞

- ・品種の交配、特性等の調査を実施し、水稻の高温耐性等を有する品種候補を作出した。
- ・ウニの在庫管理技術等を開発し、漁協への導入につながった。
- ・地球温暖化により、凍霜害のリスクが高まっていることから、対策を進める必要がある。

＜令和6年度の取組状況＞

開発を進めている新技術の実証や作成したDX販路開拓・拡大戦略に基づいた事業展開のほか、凍霜害発生リスクの高まりを踏まえ、果樹凍霜害対策に係る試験の実施など事業内容の一部を見直したうえ、継続して実施。

担当部局：農林水産部

いわて暮らし応援事業【令和5～9年度】

＜事業概要＞

東京圏から岩手への新たな人の流れを創出するため、移住者等に対する移住支援金等の支給や、東京圏の求職者と県内企業とのマッチング支援、起業者に対する一部開業資金への補助を行うもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

147,623,718円（73,811,859円）

＜主な取組内容＞

- ・東京圏からの移住者に対し、移住支援金を支給
- ・就職情報マッチングサイトの開設・運営

＜成果・課題＞

- ・事業の認知の高まりにより、サイト利用者及びマッチング件数は年々増加し、支援金の支給件数は前年度比27件の増加と、5年連続で伸びており、移住者数の増加につながった。
- ・一方で、支給件数の高止まり傾向が見られるため、制度の更なる周知や利用促進をより力強く行う必要がある。

＜令和6年度取組状況＞

移住者やマッチング件数の更なる増加に向け、マッチングサイトについて、サイト訪問者の動向把握などサイトの分析機能を強化するなど事業の内容の一部見直しの上、継続して実施

担当部局：商工労働観光部

第3期プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業計画【令和5～9年度】

＜事業概要＞

県内の中小企業の経営改善・経営革新をサポートする人材を確保するため、プロ人材戦略拠点を設置し、民間人材ビジネス事業者等に取り次ぎマッチングを図るほか、他県等と連携した説明会を開催し、県内企業の活性化を図るもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

26,980,000円（18,440,000円）

＜主な取組内容＞

- ・プロフェッショナル人材戦略拠点を設置・運営
- ・プロ人材採用に係る経費の一部を補助

＜成果・課題＞

- ・県内企業において、経営改善・経営革新をサポートするプロフェッショナル人材に係る認知や理解が進み、経営課題に関する相談件数、副業・兼業を含めた人材マッチング件数及びデジタル案件の人材マッチング件数全てにおいて目標を達成した。

＜令和6年度取組状況＞

令和5年度実績を踏まえ、よりデジタル人材の活用を促進していくため、デジタル人材を活用した場合の補助率の見直し（上乘せ）を行った上で、継続して実施。

担当部局：商工労働観光部

陸前高田オートキャンプ場整備計画【令和4～5年度】※令和5年度に一部繰越。

＜事業概要＞

テントの大型化やキャンプ場利用者のニーズの多様化などに対応した施設となるよう、施設再開後の運営予定者（指定管理者）の運営方針と合わせて、施設の利便性及び利用者へのサービスの向上を実現できる施設を整備するもの。

＜令和5年度交付対象事業費（うち交付金）＞

373,547,698円（186,773,847円）※繰越分

＜主な取組内容＞

- ・施設運営関連設備の工事の実施

＜成果・課題＞

- ・キャンプ場の整備完了に伴い、令和5年9月に供用開始（リニューアルオープン）となった。
- ・年度途中で供用開始であることから、1年間を通じたKPIの把握はできていないもの。

＜令和6年度取組状況＞

交付金活用期間の終了に伴い、事業終了。

担当部局：商工労働観光部

【参考】地方創生推進交付金を活用した事業に係る令和5年度KPI実績一覧（1/5）

KPI	単位	事業 開始前	目標値 (対前年増加分)	実績値 (対前年増加分)	達成・未達成要因等
			R5	R5	
○地方創生推進タイプ					
ドローンによる活力ある中山間地域まちづくり事業【事業期間：R2～R6年度】					
ドローン物流利用申込者数（実証実験協力者含む）	人	0	20	65	本事業の重要度について多くの地域住民等から理解を得られたため。
素材生産量	m <sup>3</sup>	85,455	90	未確定	—
未来技術普及啓発活動参加人数	人	0	250	406	県のイベント等も通じながら、未来技術の重要性について広く周知を実施することができたため。
いわての畜産業産地支援及び消費拡大プロジェクト推進計画【事業期間：R3～R5年度】					
肉用牛産出額	億円	284	4.5	未確定	—
和牛子牛市場取引価格全国比	%	95.3	4.5	-4	全国的な牛肉の消費低迷を受け、県内購買者の購買意欲の低下や県外購買者の購買割合の低下が見られた。
枝肉販売価格	円/kg	1,886	204	-37	東京食肉市場における枝肉の評価が高まり、目標を達成したもの。
SNSを活用した動画配信等による情報発信回数	回	0	12	12	いわて牛の認知度向上を目指し、イベントの開催や結果等についてSNSでの発信に力を入れて取り組んだ。
いわての農林水産業高度化プロジェクト事業【事業期間：R3～R5年度】					
セミナー参加者のうち炭酸ガス発生機導入農家の増加数	戸	0	13	5	セミナー等により生産者の理解は進んだものの、機器の稼働に必要な燃料や機器の価格高騰により導入が少なかったもの。
事業を通じた青色以外の八重咲鉢物りりんどう育成品種数	品種	0	3	3	青色以外の八重咲鉢物りりんどうの品種育成に取組み、3品種を選抜した。
事業を通じた本県における魚類養殖生産量の増加量	トン	0	10	90	サケふ化場を有効活用し、海面養殖用のサーモンの稚魚の中間育成を行うことで、海面の魚類養殖量が増加した。
開発技術周知のためのセミナーの開催回数	回	0	1	3	実施計画に基づき、事業を順調に実施したため。
岩手県内外の若者確保・定着促進事業【事業期間：R3～R5年度】					
岩手県が設置する首都圏移住相談窓口を仲介した本県への移住者数	人	60	10	83	移住ポータルサイトでの情報発信や、首都圏における移住イベントの充実等により、岩手ファンが首都圏で拡大し、移住者増に繋がっているもの。
本事業で実施する高度人材育成事業に参加した県内高等教育機関の学生の県内就職内定人数	人	0	8	25	自動車及び半導体等に係る専門性の高い人材育成講座等の実施により、受講者の県内関連企業に係る理解の拡大と就職の促進につながった。
本事業で実施する、市町村・地域団体等が行う定住・交流事業への参加者数	人	10	2	4	市町村・地域団体等が行う定住・交流事業の実施に当たり、各市町村など関係機関と連携を密に図りながら、首都圏等における積極的な呼びかけなどを行ったことにより、目標値の達成につながったもの。
本事業で実施する空き家バンク担当市町村職員のスキルアップセミナー参加人数	人	0	33	44	空き家対策における、市町村のニーズを的確に把握し、本セミナーへの参加を広く呼びかけたことにより、目標値を達成した。

【参考】地方創生推進交付金を活用した事業に係る令和5年度KPI実績一覧（2/5）

K P I	単位	事業 開始前	目標値 (対前年増加分)	実績値 (対前年増加分)	達成・未達成要因等
			R 5	R 5	
<b>いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業【事業期間：R4～R6年度】</b>					
高校における高卒就職者のうち県内の企業・事業所等に就職した者の割合	%	71.4	0	-2.1	コロナの第5類移行により、再び高校生の都市部への関心が高まったもの。引き続き、地元就職意識を涵養するもの。
①「自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」、②「将来、自分の住む地域で働きたいと思う」の2つの設問に肯定回答した高校2年生の割合の合計平均値	%	43.8	3	-3	コロナの第5類移行により、再び高校生の都市部への関心が高まったもの。引き続き、地元就職の意欲喚起を図る取組を進めるもの。
学校の教職員と地元自治体・地元企業等の関係者等で構成される協議体を設置している高校の割合	%	20.31	23.44	31.3	県教育委員会が各校に対する協働体制づくりの支援を実施したこと。
若者交流イベントの参加者数	人	1,100	5,500	2,116	若者交流イベントの周知が不十分であったこと等により参加者数が伸び悩んだ。
<b>新たな地域資源創出による三陸交流拡大プロジェクト【事業期間：R4～R6年度】</b>					
観光消費額（区域：沿岸13市町村、日本人）	億円	280.3	4.8	63	新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した観光需要を喚起するため実施した「いわて旅応援プロジェクト第4弾（全国旅行支援）」やクーポン付き宿泊プラン造成等により、三陸地域への観光入込客数が増加したため。
延べ宿泊数（区域：沿岸13市町村）	万人泊	127.3	0.5	35	新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した観光需要を喚起するため実施した「いわて旅応援プロジェクト第4弾（全国旅行支援）」やクーポン付き宿泊プラン造成等により、三陸地域への観光入込客数が増加したため。
外国船社が運航するクルーズ船寄港回数	回	0	0	7	令和5年3月から外国船社クルーズ船の国内への寄港が再開され、これまでの継続したポートセールスが功を奏し、寄港拡大に繋がっているもの。
三陸鉄道 県外団体利用者数	千人	52	5	4	県外団体利用者数がコロナ禍以前の水準に回復しなかったため未達となった。
<b>いわての地域産業DX推進事業【事業期間：R4～R6年度】</b>					
事業を通じてデジタル技術等を導入した企業数	件	0	12	12	各企業のニーズ・レベルに応じて支援内容をカスタマイズできる体制を構築したため。
ものづくり産業における高度デジタル技術者育成数	人	0	15	15	企業のニーズに対応したテーマにてメニューを企画したため。
商業・サービス業におけるデジタル化専門家派遣の支援を受けた回数	件	0	8	8	各企業のニーズ・レベルに応じて支援内容をカスタマイズできる体制を構築したため。
<b>地方志向の高まりを生かした関係人口・移住人口創出による地域の担い手確保事業【事業期間：R4～R6年度】</b>					
本事業の「関係人口創出・拡大事業」への参画等により新たに創出された関係人口	人	0	28	148	効果的な周知を図ったことで事業への参加者が増加したものの。
岩手県への移住者数	人	1,318	91	221	移住希望者に対する認知度向上等の強化を進めたことで、前年度から増加したものの。
若者向けプロモーション動画の総視聴回数（18歳～34歳）	回	36,592	18,000	582,614	視聴動向に合わせたプラットフォームの見直しによりインプレッションが激増したものの。

【参考】地方創生推進交付金を活用した事業に係る令和5年度KPI実績一覧（3/5）

KPI	単位	事業 開始前	目標値 (対前年増加分)	実績値 (対前年増加分)	達成・未達成要因等
			R5	R5	
<b>いわて加速器関連産業振興事業【事業期間：R4～R6年度】</b>					
加速器関連産業における新規共同開発件数	件	1	1	2	加速器関連コーディネーターの活動を通じ、関係団体との協力体制を敷くことができたため。
県内企業の取引支援件数	件	30	3	2	特定企業を訪問・支援したため、件数が伸びなかつたため。
中高・高等専門学校生見学者数	人	67	14	31	一般公開の機会等を利用し見学者の確保に努めたため。
<b>北いわてプラチナシティ推進事業【事業期間：R5～R7年度】</b>					
5つの事業に係る実証実験又は社会実装に伴う付加価値創出額	百万円	0	18	0	各事業のビジネス化に取り組んでいる段階であるため。早期にビジネス化を達成し、付加価値創出を図っていく。
アクティブシニアが活躍する地域経済循環モデルの横展開地域数	地域	0	2	1	地域経済循環モデルを構築中であり、横展開まで至っていないため。早期にモデル構築を行い、横展開へとつなげていく。
実証実験における小規模公共交通乗車管理システムを搭載したバス台数	台	0	10	0	コミュニティバス等を運営する市町村との調整がつかず、実証できていないため。引続き、市町村等と調整を行い、実証につなげていく。
実証実験において軽度認知症判定デバイスを活用した遠隔診療を受けた患者数	人	0	2	0	デバイスの精度及びユーザビリティの向上のため、研究開発・協力者との実地実験を行っているところ。早期の実用化につなげていく。
<b>デジタル人材の育成・起業支援事業【事業期間：R5～R7年度】</b>					
本事業による起業家又は起業準備者の育成人材数	人	0	20	52	起業希望者のニーズに対応したテーマにてメニューを企画したため。
AI人材育成講座受講者数	人	0	60	57	企業のニーズに対応したテーマにてメニューを企画したため。
支援事業を通じた、企業等における業務効率化等を実践した人数	人	0	18	18	交付金を活用し、計画どおり事業が進捗したため。
<b>DX・GXの推進による農業水産業の生産性・市場性向上事業【事業期間：R5～R7年度】</b>					
農業経営体一経営体当たりの農業総産出額増加額	千円	0	130	130	価格高騰の影響緩和対策や経営体質の強化等によるもの。
データ駆動型農業関連技術開発数	件	0	1	1	試験設計に基づき、適切に進捗を管理しながら成果をとりまとめることができたため。
気候変動等に対応した品種候補数	系統	0	1	1	品種の交配、特性等の調査を行った結果、水稲において4系統品種候補が作出されたもの。
在庫管理出荷等の新技術導入に取組む漁協数	漁協	0	2	2	海洋環境の変化に対応した新技術開発に取り組んだ結果、2漁協での実施につながった。

【参考】地方創生推進交付金を活用した事業に係る令和5年度KPI実績一覧（4/5）

K P I	単位	事業 開始前	目標値 (対前年増加分)	実績値 (対前年増加分)	達成・未達成要因等
			R 5	R 5	
第3期プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業計画【事業期間：R5～R9年度】					
経営課題に関する相談件数	件	760	300	321	普及啓発セミナーやDM送付を行うなど、プロ人材の活用について周知を行った結果、相談件数が増となったもの。
兼業、副業及び中核人材を含めた人材マッチング件数	件	170	62	79	経営課題の解決のためにはプロ人材活用の必要性を説明した結果、人材マッチング件数が増となったもの。
上記のうちデジタル案件に係る人材マッチング件数	件	0	5	11	経営課題の解決のためにはデジタル関係のプロ人材活用の必要性を説明した結果、人材マッチング件数が増となったもの。
いわて暮らし応援事業【事業期間：R5～R9年度】					
本移住支援事業に基づく移住者数	人	130	274	270	市町村における支給見込者の中で、要件不一致や申請書類の不備等のケースが多く、想定を下回る支給件数となったこと。
本企業支援事業に基づく起業家数	人	5	10	10	制度の周知が進み、順調に事業者から申請があったため。
マッチングサイトに新たに掲載された求人数	件	1,400	1,400	1,400	適宜サイト改修を行うなど内容の充実を図っており、利用登録促進のPR効果も出ているもの。
本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	世帯	17	40	40	市町村と連携し、首都圏における移住イベント等で家族世帯向けに制度周知ができているため。
○地方創生拠点整備タイプ					
スマート水田農業普及教育拠点整備計画【事業期間：H30年度、供用開始：R1.9月】					
スマート農業技術対応設備・機械導入件数	件	0	10	96	農大における研修等を通じて、スマート農業に関する理解が進んでいるため。
新規就農者数（経営品目：水稲）	人	0	5	3	農大におけるカリキュラムを通じて、水稲を志向する新規就農者が育成されたため。
農業産出額	億円	2420	10	未確定	—
ヘルスケア産業集積拠点整備計画【事業期間：R1年度、供用開始：R2.4月】					
入所企業における売上高	千円	360,000	550,000	-1,274,259	当該施設においては、研究開発型の集積が進み、現在満室の状況であり、進めていた開発計画を一時的に凍結し、新型コロナウイルス検査キットの開発にシフトしたことにより、見込みを大幅に上回る売上となる時期はあったが、新型コロナウイルスが5類移行後に売上を大きく落とし、目標は未達となったもの。
入居企業における理工系大学等卒業者等雇用者数	人	20	25	13	発型の集積が進み、現在満室の状況であり、入居企業においては、企業規模拡大のため、従業員を増やす取組を行っているが、採用が困難で、目標未達となったもの。



【参考】地方創生推進交付金を活用した事業に係る令和5年度KPI実績一覧（5/5）

K P I	単位	事業 開始前	目標値 (対前年増加分)	実績値 (対前年増加分)	達成・未達成要因等
			R 5	R 5	
スポーツライミングの国内拠点整備計画【事業期間：R1年度、供用開始：R2.4月】					
スポーツライミング施設利用者数	千人	20	2	-2	大規模大会の開催がなかった影響もあり、目標値に届かなかった。
県外選手が参加するスポーツライミングの大会・合宿の実施回数	回	7	2	-6	誘致活動に取り組んだものの、大会等の開催につながらず、目標値に届かなかった。
スポーツ大会・合宿・イベントの誘致・開催に伴う交流人口の増加数	千人	133.98	2.36	-25	大規模大会等の開催がなかった影響もあり、目標値に届かなかった。
北いわてスマート農業プラットフォーム創造拠点整備計画【事業期間：R2年度、供用開始：R3.3月】					
北いわてにおける農業産出額	億円	740	1	未確定	-
北いわてにおけるスマート農業技術新規導入件数（累計）	件	0	5	7	地域内生産者の関心が高まり、技術導入が進んだため。
環境制御技術導入生産者における施設栽培きゅうりの慣行栽培対比増	%	100	4	-1	夏期の異常高温により、環境制御による増収効果が限定的であったため。
陸前高田オートキャンプ場整備計画【事業期間：R4～5年度、供用開始：R5.9月】					
キャンプ場利用者数	組	0	9,114	-	年度途中のオープンであったため、通年通した実績把握ができなかったもの。
キャンプ場売上	千円	0	47,936	-	年度途中のオープンであったため、通年通した実績把握ができなかったもの。
キャンプ場利用者による観光消費額	千円	0	672,817	-	年度途中のオープンであったため、通年通した実績把握ができなかったもの。

※「地方創生拠点整備タイプ」は供用開始から5年間の効果検証が必要であることから、R5年度以前の事業についてもKPI実績を掲載しているもの。